

河北新報普及センターと尚綱学院大がつくる名取のメディア

# ハナモモ通信

2019年 2月



ハナモモちゃん

【発行】  
河北新報普及センター  
【協力】  
尚綱学院大 河北仙阪  
【エリア】  
名取市内  
【部数】  
11,600部  
【電話】  
022(266)2991

## 公民館で何を学ぶか

### 文化会館に市民ら集う

名取市内の公民館がより市民の悩みや要望に沿った運営を行うため、公民館職員と市民同士が意見を交わす「公民館を考えるつどい2019 私たちは公民館で何を学ぶか」(名取市教育委員会主催)が17日に名取市文化会館で開催された。

つどいでは最初に、市内の各公民館で行われて来た「地域力向上講座」を経てそれぞれの地域を盛り上げるべく立ち上がった住民団体のメンバーの方々が、振興活動から学び取ったことを発表しました。



キラキラパルク増田西代表の伊藤宗男さんは「昨年8月増田川でガサガサ体験を展開した。大切なのは自分自身も楽しむこと。幼い頃の郷愁を思い出して川に入る大人につられて、子供たちも楽しさに気づいてくれる」と経験を語りました。

続いて行われた公民館職員の方々と市民有志による課題研究の発表では、貧困に苦しむ家庭を支援するための取り組みや、義務教育を未終了のまま社会人になった方への夜間中学の設置促進といった、昨今の社会問題への対処に向けた動きが紹介され、多くの参加者の共感を得ていました。

最後の対話の時間では、参加者がいくつかの班ごとにまとまり、公民館の利用で気になっていることや困っていることを提示しあい、話し合いが行われました。参加者からは「閉上に新しい公民館が出来ることで行事運営はどう変わるか」「休日使用分の灯油を留意するといった気配りをして欲しい」といった多くの質問や意見が出されました。

つどいを終えて、参加者の鈴木尚子さん(40代)は「公民館が世代問わず人と人との繋がりを育める場所になって欲しい」と思いを述べました。

(星野裕太・石幡快)

## 川崎町こんにやく

### スーパー片浜屋・尚綱学院大 コラボ弁当に登場

ゆりが丘にあるスーパー片浜屋と尚綱学院大が、地域の皆さんへの想いを込め共同開発しているコラボ弁当。その第4弾の試食会が1月18日、スーパー片浜屋のフードコートで行われました。

第2弾のコラボ弁当からは、宮城県内外の特産品がメインの食材として取り入れられました。第2弾は気仙沼のさばを使った「彩食健美」。第3弾は山形県川西町の紅大豆が入った「彩菜の里」が発売されました。今回のメイン食材は川崎町の「こんにやく」です。

試食したお弁当には、美味しく、そして楽しく食べられるお弁当が入っていました。



青のり味とカレー味、二つある大ぶりの天ぷらは、大きくカットされたこんにやくにやくを肉巻きにして揚げた「肉巻きこんにやく」の天ぷらだった。一見ただの肉そばに見えろがおかずが粒々としていて歯ごたえがあり、食感が楽しめる「こんにやく」のそば。



「おいしいと楽しいを同時に味わうことができるお弁当でした。」

川崎町蒟蒻加工組合長の、大宮富雄さん(71)は「お弁当を食べた方がこんにやくが川崎の特産の一つだと気付きこんにやくを求めて川崎に来ていただくきっかけに繋がられたらいい」と話してくれました。

スーパー片浜屋の店長、中地悟さん(57)は「お年寄りの方から若い方まで、多くの地域住民に食べていただきたい」と話しました。

スーパー片浜屋と尚綱学院大、そして川崎町のそれぞれが想いが込められ開発された今回のコラボ弁当は、スーパー片浜屋ゆりが丘店で3月3日から498円で販売予定です。皆さんもぜひ食の美味しさと楽しさを感じられるお弁当を召し上がってください。

(石幡快)

ハナモモ記者が行く カフェモーツアルト ユリイカ

# 名取産食べ隊

## ゆったり過ごせる空間

名取駅東口から新設されたペデストリアンデッキを歩き、目の前の名取市図書館を入るとすぐに「カフェモーツアルト ユリイカ」があります。

店内は落ち着いた雰囲気、それぞれ形の違うテーブルや椅子が目を引きました。個人でゆったり過ごせる席から数人で囲める席まであり、多くの客が来店していました。談笑しながらティータイムを楽しむご婦人達から中学生まで、誰でも気軽に入店できる雰囲気が印象的でした。

「カフェモーツアルト ユリイカ」のオススメのメニューは名取産の食材を使った「本日のご飯」。取材に訪れた日は、「しらすとアボカドのごはん」に「せりのたっぷりスープ」でした。ボリュームたっぷりなので男性にも満足していただけるメニューだと思います！

また、果物を使用した自家製スイーツも様々なソースが使われていることでいろんな味が楽しめるようになっています。シフォンケーキはほんのりと甘いケーキにキウイとイチゴの風味がうまく絡み合って口の中いっぱい甘酸っぱさが広がる美味しい一品です。ペイクドチーズケーキはずっしりした食感で甘さは控えめ、同じく甘さ控えめの生クリームやベリーソースがチーズの味と合っていてとても美味しかったです。

「ユリイカ」というお店の名前は、カフェモーツアルトのオーナーが好んで読んでいた文芸誌の名前でお店にも置いてあるそうです。また、名取にはゆりが丘や閑上といった「ゆり」と付く地名があり、少しでも親しみをもってもらえるようにと名付けられたそうです。

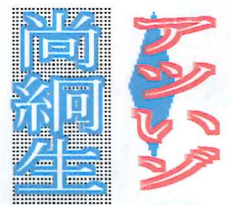
店長の善積建介さん（31歳）は「当店では図書館の本を持ち込むこともでき、本を読みながらゆっくりと過ごせる空間が楽しめるようになっています。ぜひご来店お待ちしております！」と話してくれました。皆さんも足を運んで、確かめてみてください。

（後藤香菜子、菊地美里、島田千緩）



### カフェモーツアルト ユリイカ

営業：[火～金]7:30～19:00  
 [土・日・祝日]7:30～18:00  
 定休日：月曜日・第4水曜日  
 住所：名取市増田4-7-30 名取駅前北棟 名取市図書館  
 お問い合わせ：022-383-7172



## ずんだアイス プロジェクト

名取市にあるジェラートショップ「ナチュリノ」(図南商事株式会社)と名取市役所の企画で商品開発中の「ずんだアイス」の最終試食会が12月27日、尚綱学院大で行われました。

企画には尚綱学院大と宮城農業高も携わっており、当日は尚綱学院大から健康栄養学科片山ゼミの学生3人と、宮城農業高から農業経営者クラブの生徒6人が参加し、ずんだアイスの味やパッケージデザインなどについて話し合いました。試食会は、昨年4月からこの日までに毎月1度程度行われてきました。最終の試食会となるこの日は、ジェラートとずんだ餡、ずんだパウダーの調合比率を、図南商事の鈴木知浩(ともひろ)社長を交え率直に意見を話し合っていました。また、パッケージデザインを決める際は、真剣な表情での話し合いが行われ参加メンバーのプロジェクトに熱い思いを感じ取ることができました。

プロジェクトに参加した尚綱学院大4年の八巻ちづるさんは「ずんだアイスを食べてもらいたくさんの人にこのプロジェクトを知ってもらってほしい」と話してくれました。また、図南

商事の鈴木社長は「学生・生徒さんと作った作品として、爪痕を残したい」とずんだアイスにかける想いを語ってくれました。  
 (石幡 快)



### ハナモモ通信 プレゼント企画!

牛乳を楽しく飲んで飲める!「ミラクルストロウシツパ」(3つの味をセットにして)を抽選で8名様にプレゼント!住所、氏名、年齢、電話番号、ハナモモ通信を読んだの感想、要望などを記入してメールかFAX、または郵便で左記まで。

3月10日締切。

【住所】〒980-0022

仙台市青葉区五橋

1の1の10

【TEL】

266-2991

【FAX】

227-8333

「KFCハナモモ通信プレゼント」係

まで。